

新建築

SHINKENCHIKU:1995

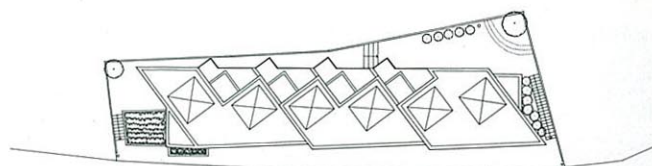
4

創刊70周年





南西側全景。遠くに長浜湾を見る。



MURIBUSHI (KOHKEN リフレッシュセンター)

沖縄県読谷村

設計 福村俊治+空間計画 VOYAGER

施工 大晋建設

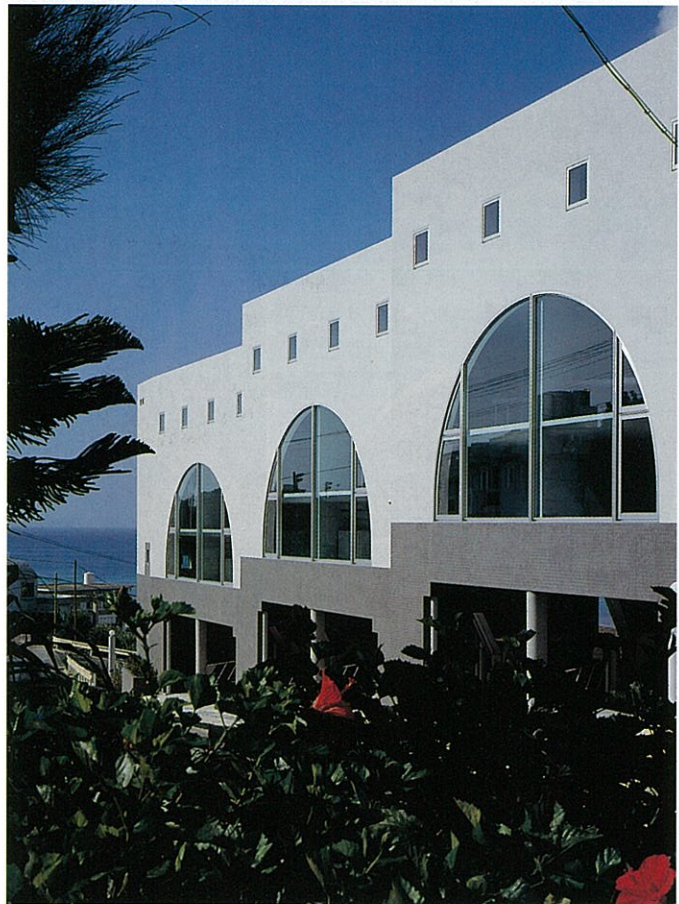
KOHKEN REFRESH CENTER

architects : SHUNJI FUKUMURA + SPACE DESIGN VOYAGER

配置 縮尺1/600



北東側外観。テラス上部に浴室が海に向かって突き出すかたちで設けられている。



前面道路側外観。敷地の傾斜にあわせて3つの棟がレベルをずらしながら連続する。



撮影 本誌写真部

北東側全景。道路と敷地のレベル差を利用して1階にプール、3階以上に住戸が設けられている。

「ムリブシ(群星)」とは、沖縄の言葉で「夜空の満天の星」を意味する。この建物は、東京と沖縄に拠点をもつPCコンクリート橋梁の建設会社の社員寮兼保養施設である。敷地は沖縄本島中部、残波岬近くの東シナ海に面する読谷村長浜湾を一望できる傾斜地の中腹にある。多くの沖縄本島の景勝地が観光地として開発されつつある中で、ここには環礁に囲まれたエメラルドグリーン^{リーフ}の海と、湾を取り囲む緑地など、かつての沖縄の風景が残っている。敷地の海側には古い集落があり、山側には3年前に竣工した「NIRAI-KANAI(飯塚別邸)」(『新建築住宅特集』9306)もある。この素晴らしい眺望

と温暖な沖縄の気候を享受し、リフレッシュできる建物をつくるのが施主から与えられた要望だった。敷地は急な坂道に面し、道路より3~5mほど低い、さほど広くない土地である。この段差を利用し、地盤レベルに年中使用可能で海が望める温水プール(15×3.6m)と多目的ホールを設けた。道路レベルは駐車場とし、住戸(宿泊部分)は独立性をもたせるために、3層で構成される住戸が6つ横並びになる長屋方式とした。また、住戸のどの部分からも海が望めるよう各住戸を雁行させ、海側に完全にあげた。道路に勾配がついていることから、2住戸ごとに床

をスキップさせ、ファサードもそれに合わせて分節し、変化を与えると共に、住戸部分の階高を2.2mにおさえ、建物のスケールを落とした。3層の住戸部分には、下層に広いテラスとL.D.K.、中層に書斎・吹抜けとバスルーム、上層にクローゼットと主寝室がある。どの部分も最少寸法で納められているが、海に完全に開かれ、外部と内部が一体化しているため、「狭さ」はまったく感じられない。むしろ、海を見ながらの垂直移動が心地よい。また各住戸からは、駐車場を通り、専用の階段で1階のプールに行けるようになっている。

この建物の使われている様子(朝・夕に泳ぎ、休養し、暮らし、働く)を見て、私たちの日常生活の中でリフレッシュすることの大切さと、建物の中に、人による刺激を与える非日常的空間をもつことの重要性を再認識した。今、私たちはこの考えに基づいた斬新な中規模の集合住宅を沖縄県名護市に計画中である。このリフレッシュセンターが、昼間の素晴らしい風景の中で人を感動させると同時に、夜空の星を見て別世界の夢を人に感じさせるような建物であり続けてほしい。(福村俊治)



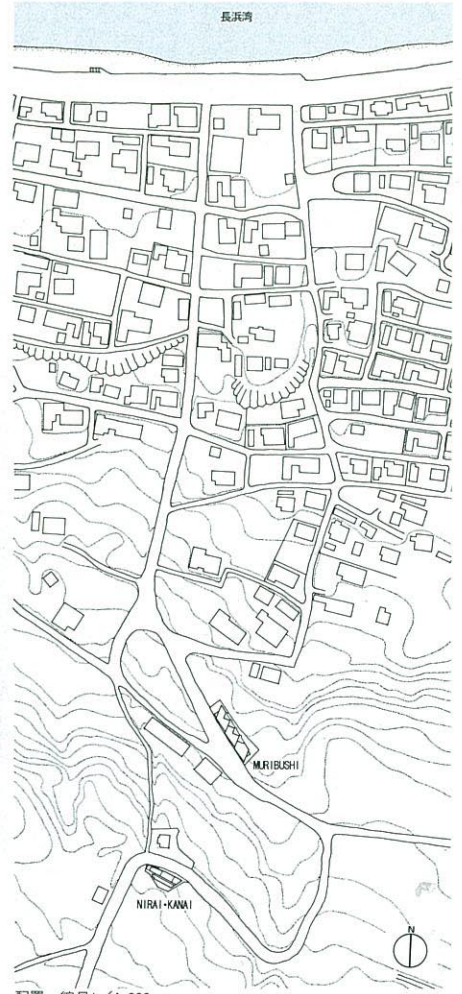
南西側夕景。前面道路に面した2階部分に駐車場と各住戸のテラスに続く階段が設けられている。



南端住戸のリビングルームを見る。



2層吹き抜けのリビングルーム。



配置 縮尺 1/4,000

設計 建築 福村俊治+空間計画 VOYAGER
 構造 建築設計 庵
 設備 仲本設備設計

施工 大晋建設

敷地面積 286.45㎡

建築面積 178.14㎡

延床面積 721.42㎡

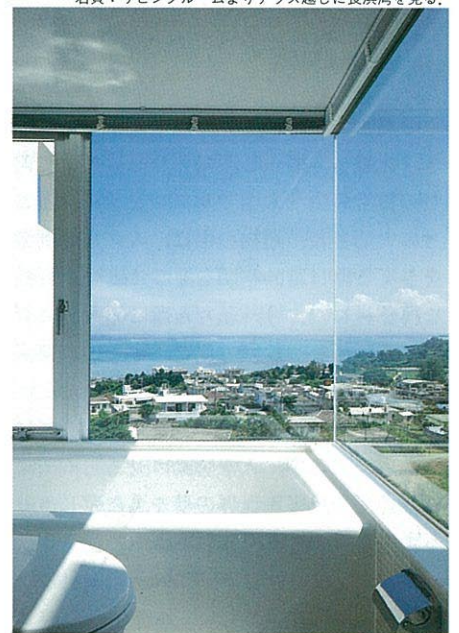
階数 地上5階

構造 鉄筋コンクリート壁構造

工期 1993年7月～1994年4月

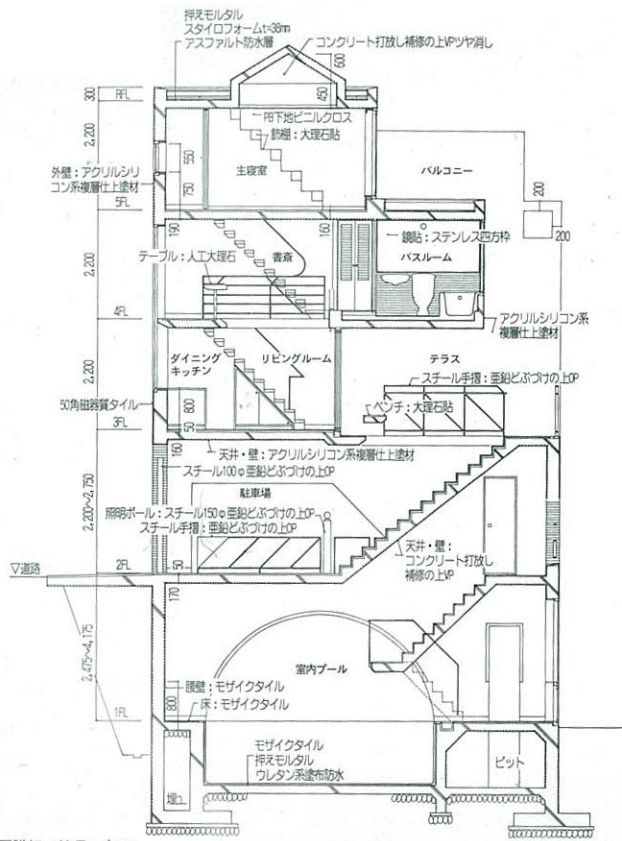
(データ=P289)

右頁：リビングルームよりテラス越しに長浜湾を見る。

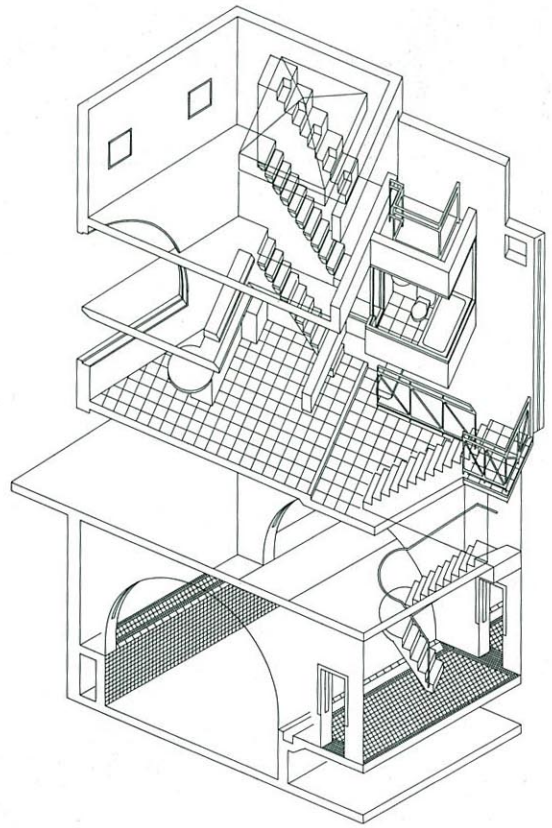


海側に突き出した浴室。

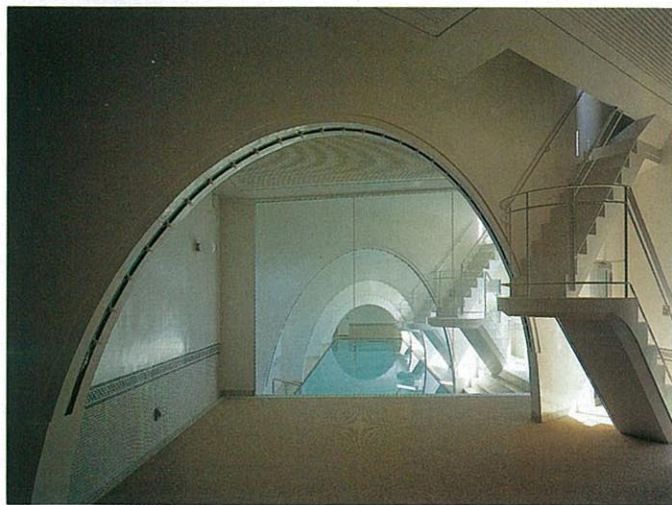




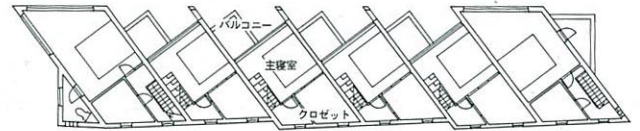
断面詳細 縮尺1/150



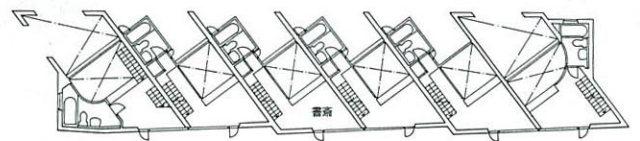
2階駐車場と各住戸のテラスへ続く階段。



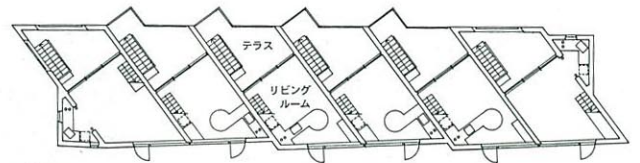
1階プール。各住戸からは駐車場を通り専用の階段で行くことができる。



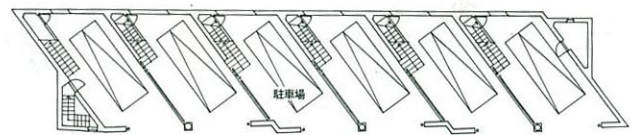
5階平面



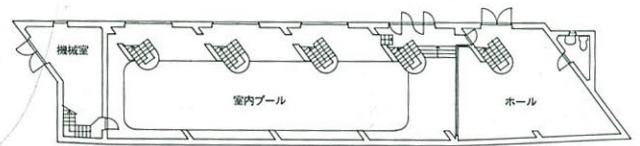
4階平面



3階平面



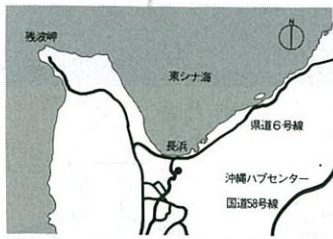
2階平面



1階平面 縮尺1/400

■MURIBUSHI

KOHKEN リフレッシュセンター



所在地 沖縄県中頭郡読谷村字長浜710

主要用途 保養施設

設計 福村俊治十空間計画VOYAGER

建築担当/福村俊治 河野俊弘
福村広美

監理担当/福村俊治 河野俊弘

構造 建築設計 庵

担当/比嘉一博

設備 仲本設備設計

担当/仲本隆司 中村陽一

施工 大晋建設

担当/上原浩司 新垣直樹

衛生 国際電気通信 外間朗彦

隆松電気 松田隆

電気 沖電工 屋良朝喜

三浦建設工業 山田憲夫

面積

敷地面積 286.45㎡

建築面積 178.14㎡

延床面積 721.42㎡

1階 178.14㎡/2階 174.42㎡

3階 131.34㎡/4階 93.04㎡

5階 135.48㎡

建ぺい率 62.19% (許容:70%)

容積率 248.71% (許容:400%)

階数 地上5階

寸法

最高高 13,200mm 軒高 12,200mm

階高 3・4階:2,200mm

天井高 リビングルーム:2,000mm

主なスパン 4,650mm×6,200mm

地域地区 区域外地域 無指定地域

道路幅員 南7.5m 駐車台数 6台

構造 鉄筋コンクリート壁式構造

杭・基礎 直接布基礎

設計期間 1992年10月~1993年6月

施工期間 1993年7月~1994年4月

外部仕上げ

屋根 コンクリート陸屋根:アスファルト防水 スタイロフォーム㊦

38mm 外断熱モルタル押え

外壁 コンクリート打放し補修の上
アクリルシリコン系複層仕上塗材
ホーロー仕上 一部磁器タイル50角貼

開口部 アルミサッシシルバー

外構 溶融亜鉛どぶづけスチール手摺
砂利敷 一部芝生+植栽

内部仕上げ

室内プール (3.6m×15m)

床 モザイクタイル

壁 腰壁:モザイクタイル 壁:
コンクリート打放し補修の上
VP

天井 コンクリート打放し補修の上
VP

テラス

床 磁器質タイル300角

壁・天井 アクリルシリコン系複層仕上塗材
ホーロー仕上

リビング・ダイニング・キッチン

床 大理石300角貼

壁・天井 コンクリート打放し補修の上
VPつや消し

主寝室

床 カイザル麻床材

壁 PB地下 ビニルクロス

天井 コンクリート打放し補修の上VPつや消し

撮影 本誌写真部

●福村俊治プロフィール

1953年滋賀県大津市生まれ/1977年関西大学建築学科卒業/1979年同大学院修士課程修了/ヨーロッパ・アフリカ・中近東・インド・東南アジア・北米・中米を建築旅行/1982年アトリエ・ファイ建築研究所/1990年空間計画VOYAGER設立

倉田幹夫 川辺信雄

空調・衛生 高砂・三機共同企業体

電気 日鉄エレックス・関電共同企業体

面積

敷地面積 3,120.21㎡

建築面積 2,233.73㎡

延床面積 12,625.73㎡

地下2階 1,360.59㎡

地下1階 2,347.17㎡

1階 2,122.20㎡/2階 1,574.28㎡

3階 944.72㎡/4階 654.42㎡

5階 1,367.61㎡/6階 768.98㎡

7階 1,209.73㎡

建ぺい率 71.58% (許容:80%)

容積率 357.28% (許容:400%)

階数 地下2階 地上7階 塔屋1階

寸法

最高高 43,680mm 軒高 36,180mm

階高 1~3階:4,500mm

天井高 ホワイエ:2,800mm

主なスパン 6,400mm×6,400mm

地域地区 住居地域 防火地域 第1種文教地区

道路幅員 西7m 南20m

駐車台数 38台

構造 地下部分:鉄筋コンクリート造
地上部分:鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造

杭・基礎 直接基礎

設計期間 1991年6月~1992年12月

施工期間 1993年1月~1995年1月

外部仕上げ

屋根 アスファルト防水 コンクリート押え 一部磁器質タイル貼

外壁 花崗岩打込みPC板

開口部 アルミカーテンウォールフック
樹脂焼付塗装

外構 花崗岩100角

内部仕上げ

中ホール

床 オークフローリングヘリンボーン貼

壁 モアビ練付

天井 GRC板 弾性吹付タイル

小ホール

床 ロールカーペット 一部ナラフローリング

壁 織物クロス

天井 PBの上 EP

1・2階ロビー、ホワイエ

床 ロビー:大理石本磨き ホワイエ:タイルカーペット

壁 大理石本磨き

天井 着色岩綿吸音板 一部PB+成形石膏板の上 EP

エントランスホール

床 花崗岩 J&P仕上

壁 大理石本磨き

天井 珪酸カルシウム板の上 EP

撮影 本誌写真部

●藤居謙一プロフィール

1951年大分県生まれ/1975年東京大学卒業後、新日本製鐵入社/現在、建築設計室長

●山下稔プロフィール

1954年東京都生まれ/1980年武蔵工業大学大学院修了後、山下設計入社/現在、計画技術センター-計画部担当主管

●執筆者紹介

重村力

1946年神奈川県生まれ/1969年早稲田大学卒業/1974年同大学院修士課程修了/1971年象設計集団設立参加/1978年Team Zooいるか設計集団設立/1979年よりいるか設計集団顧問として設計活動/1993年神戸大学助教授、現在に至る

フランチェスコ・ダル・コロ

1945年イタリア・フェラーラ生まれ/1971年ヴェツィア建築大学を卒業、同大学教授、主な大学で講演会などを行う/主な著書『ハンネス・マイヤー論集1921-42』、『アメリカの都市』(共著)、『近代理論』

長谷川逸子

1941年静岡県生まれ/1964年関東学院大学卒業後、菊竹清訓建築設計事務所、東京工業大学建築学科勤務/1979年長谷川逸子・建築計画工房設立/その間、女子美術大学、早稲田大学、東京工業大学、新潟大学の非常勤講師、ハーバード大学客員教授を務める

今野裕一

『夜想』『銀星倶楽部』『WAVE』などの雑誌を編集出版/湘南台文化センターの舞台ディレクターを2年務める/現在、長谷川逸子とともにN-PAC Work shopでホール・スタッフ養成講座を運営

畑祥雄

1950年京都府生まれ/1976年写真家として独立/1980年「背番号のない青春」でデビュー/代表作に改良ニワトリの一生を写した「HANAKO」などがある/1989年リパティ表現大学写真講座を創設/1993年成安造形大学助教授として写真表現の学際的研究をはじめ/写真家、大阪国際写真センター代表

大村慶一

1938年宮城県生まれ/1962年東北大学卒業/1964年東京大学修士課程修了/1964~67年東京大学工学部助手/1967年都市計画設計研究所設立・参加/1993年東京大学学位取得、現在に至る

養原敏

1933年東京都生まれ/東京大学教育学科で地域(アメリカ)研究/日本大学で建築専攻/ペンシルバニア大学へ留学/南米ベネズエラ社会経済開発研究所/建設省:都市局土地利用調整官、住宅局住宅建設課長、茨城県都市計画課長を歴任の後、養原計画事務所設立

重枝豊

1954年山口県生まれ/1977年日本大学理工学部卒業/1980年同大学院修了/1980年同大学院博士課程修了/現在、同大学理工学研究所研究員

■紀尾井ホール



所在地 東京都千代田区紀尾井町6-5

主要用途 音楽ホール

設計 新日鉄・山下設計共同設計室

建築担当/藤居謙一 山下稔
久松雄治 前田浩文 中西秀幸

構造担当/小野哲郎 中村秀司
市川康

空調・衛生担当/関谷正 中村靖

電気担当/遠藤政文 根岸雄児
監理担当/宮崎英規 堀見和道

音響 永田音響設計

和室 小杉建築研究室 小杉英男

装飾・制作:大貫泰子

小ホール綴帳デザイン 朝倉撰

シャンデリア等 多田美波研究所

エントランスホールガラスアート
S.リベンスキー&J.プリフトヴァ

外観ライティングデザイン 石井幹子
デザイン事務所

施工 新日鉄・鹿島・大成・竹中共同
企業体

建築担当/山本久能 小原敏彦
北澤進 岩崎泰伸 小野寺法雄

鈴木敏泰 永盛孝幸 安井啓
谷口則夫 三浦文衛 大石和久